



地域と結ぶ



順天堂大学練馬病院ニュース

新春のお慶びを申し上げます

新年明けましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当院は今年7月1日に開院満12年を迎えます。これまで多くの患者さんに支えられ大きな医療事故もなく診療を続けてこられたのも、地域の皆さまの信頼と、練馬区をはじめとした近隣地区医師会のかかりつけ医の先生方のおかげと感謝申し上げます。



院長 児島邦明

本年も皆さまに大学医学部附属病院として「質の高い医療の提供」と、地域医療支援病院として、かかりつけ医の先生と密に連携を保ち、「安心・安全な医療」をお届けできるよう努力してまいります。

順天堂の学是「仁」；人ありて我あり他を思い遣り慈しむ心、理念「不断前進」；つねに高い目標を目指して努力を続けること、を心に職員一同、本年も医療を通して地域社会に貢献してまいる所存でございます。

本年が皆さまにとって幸多き年でありますようお願い申し上げます。

地域の皆さまの
心と身体のおアシスで
ありたいと願っています。

何なりと
ご相談ください。



2017年カレンダー写真

副院長のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

当院はさまざまな疾患に対応できる28診療科を有する400床の総合病院ですが、大病院とは異なり各診療科の垣根はなく、診療科の連携のみならず、各職種間の連携も良く、チーム医療に力を注いでおります。地域に密着した医療を目指し、患者さんから、また近隣の医療関係者の皆さまから愛される病院になるよう努力しております。外来を受診する患者さん、入院治療を受けられる患者さんの約70%は練馬区在住の方であり、患者紹介率（地域医療支援病院の計算法）は70%を超えております。

医療の進歩は目覚しく、例えばC型肝炎は経口薬の登場によりほとんどの患者さんでC型肝炎ウイルスを駆除できるようになりました。しかしこの経口薬には併用注意の薬があり、そのためかかりつけ医の先生方との連携が必要です。

当院は安全でより良い治療を患者さんに提供するため、近隣医療機関との連携を密に行い、患者さんの情報を共有する取り組みを行っております。さらに昨年10月からは近隣薬局との連携も開始しました。

地域の皆さまに親しまれ、さらに信頼される医療を提供できるよう頑張ってまいりますので、今年もよろしく願い申し上げます。



副院長
消化器内科 教授
宮崎招久

乳腺看護外来 新設について

がん治療センター 化学療法室
乳がん看護認定看護師 名取由貴

乳腺専門外来とは

乳腺看護外来では、乳がんに関する専門的な知識を有する看護師が、乳がんと診断された患者さんの抱える不安や、心配事に対する相談を受け、多様化する乳がん治療をご自身で選ぶために必要な情報提供を行うなどの支援をさせていただきます。また、これから乳がんの治療・手術を受けられる患者さんに対して、疑問や不安を一緒に解決できるように支援させていただきます。

身近な存在として、いつでも乳がん患者さんやご家族の方の支えになれるよう願っておりますので、お気軽にご相談ください。



名取由貴

【外来名】 緩和乳腺外来

【外来日】 毎週火曜日 13:00~16:00

【場 所】 2階 Kブロック メディカルサポートセンター

【対 象】 当院かかりつけの乳がん患者さん

※現在のところ既に乳がんと診断され手術を受ける前の患者さんに限らせていただいております。

【予約方法】 ご希望の方は担当の医師にお申し出ください。

※事前予約制 1人30分枠

【相談内容】

- 1) 告知後の心理的サポート
- 2) 乳がんに関する情報提供
- 3) 検査に関する情報提供
- 4) 乳がん治療に関する情報提供
- 5) 治療の選択のサポート
- 6) 手術に関する説明
- 7) 手術オリエンテーション
- 8) 術後使用する下着について



健康管理室のしごと

健康管理室長 川角正彦

順天堂大学練馬病院では約 800 人の職員が働いています。

健康管理室の役割は、職員の健康管理や病気・怪我の予防と早期発見にあります。そのため職員の①日々の健康管理②流行病の予防③職場での危険防止、などの対策をたてています。



川角正彦

具体的には春、秋 2 回の健康診断から職員の健康状態を把握し、異常のあった人には通院や再検査の必要性を伝達します。また職員向けの健康ニュースなどを通じて生活習慣病の予防を図っています。これらは一般の職場でも行われていることですが、医療機関としての特殊な事情があります。これからの季節、インフルエンザの流行が予想され外来や病棟に持ち込まれる恐れがあります。そのため病院職員には流行前に予防接種をおこないます。その他にも肝炎などのウイルス感染症に備えたワクチン接種も随時おこなっています。

また手術や内視鏡でとった組織にがん細胞があるかどうかを調べる検査室がありますが、とった組織を顕微鏡でみるのに適するかたちにするため有機溶剤をつかいます。この薬剤は間違っ吸ってしまうと健康を害する恐れがあります。このため検査室内の換気や空気が滞ってしまっていないかなど、改善すべき点がないか調べたりしています。処置室や手術室などでは注射針やメスを使用しますが、それらで職員がケガをしないよう環境を整えたり、啓蒙活動をおこなったりしています。

患者さんの治療にあたるには、まず職員自身が健康である必要があります。健康管理室は職員自身が健康を維持できるよう活動しています。

世界医学検査学会にて最優秀賞受賞!

この度、神戸にて開催されました第 32 回世界医学検査学会にて最優秀賞の表彰を受けました。世界医学検査学会は臨床検査に関わる臨床検査技師や医師が参加する学会で、2年に1度開催されます。今回は34の国と地域から約2,200名の参加がありました。

臨床検査は血液検査や心電図検査を始めとする複数の検査からなっています。私が携わっている病理検査は病理医との協力のもと、内視鏡や手術材料の病理診断、子宮がんや肺がん検診など、がんの診断や早期発見を担っています。

学会は新しい検査法の開発や検査技術の向上、そして治療に繋がる研究成果を発表する場であります。当院における「卵巣腫瘍の細胞診断」についての取り組みが、世界医学検査学会で評価を得たのは大変光栄なことと受けとめております。

今回の受賞を励みに、今後も日々の検査精度の向上や医療の発展に貢献し、患者さんにより良い医療を提供できるよう努めてまいります。



(病理診断科 浅見志帆)

医療サービス支援センター

患者・看護相談室 宮本千恵美

患者・看護相談室は院内及び地域関係機関と連携し、患者さん・ご家族が安心して在宅療養生活を送れるよう、乳児から高齢者まであらゆる年齢層を対象に継続した支援をおこなっています。また、ケアマネジャー等地域からの在宅相談窓口となっています。



宮本千恵美

◆このような時ご利用ください

1. 退院後の相談：退院といわれたがどうしていいかわからない。在宅医療を受けたい。介護保険の利用。家が良いか施設が良いか迷っている。
2. 病気に対する不安：病気を持ちながらも在宅療養を継続したい。
3. 在宅で使用する機器に関すること：栄養管理等
4. 在宅・施設での緩和（ホスピス）ケアに関する相談
5. 在宅療養の相談：外来通院中の介護や社会資源や制度の利用に関すること。在宅看護専門看護師が相談に応じます。予約可能です。

在宅専門看護師は、平成24年12月に認定された資格です。在宅で療養する方とご家族が安心して療養生活を続けられるよう支援し、保健医療福祉や看護学の水準を高めるために貢献してまいります。



当院では、患者さんや地域の皆さまにとって癒しの場所になれるよう、外来にて随時コンサートを開催しております。

8月27日（土）特別演奏として、日本を代表するヴァイオリニストであり、練馬区文化振興協会理事長を務められている大谷康子様にご演奏いただきました。当日は、クラシックの名曲や日本の曲などを1時間にわたり演奏いただき、多くの患者さんが笑顔で楽しんでいらっしゃいました。

130名を超える患者さんやご家族の中には、かねてより大谷様の大ファンだった方や、涙を流しながらバイオリンの音色に聞き入る方もいらっしゃいました。



10月22日（土）総合外科 春山医師の紹介で、ヴァイオリニストの相知明日香様と、ピアニストの庄司絵美様にご演奏いただきました。

クラシックの名曲だけでなく、日本の歌謡曲やオリジナル曲まで幅広くレパートリーを披露していただき、楽しいひとときを過ごしました。

11月26日(土) 当院の看護師も参加している「Joyful Gospel Company」の皆さまに歌っていただきました。アップテンポの曲や力強い歌声に、多くの患者さんが元気づけられました。

観客全員で手拍子をしてリズムをとるなど、音楽の力で皆が一緒になって笑顔になることができたイベントでした。



(総務課 戸崎雄太)

